

ふくべ細工

夕顔の実を用いる栃木県の名産
かんぴょう面の絵付け

夕方咲く夕顔の実からできる
かんぴょうとふくべ

栃木名産として代表的なもの一つに、かんぴょう(干瓢・夕顔の果肉を細長く裂き、乾燥させた食品)があります。このかんぴょうが、ふくべ(瓢・ひょうたんと同じ)細工の材料となるふくべと共に、同じ夕顔の実からできることはあまり知られていません。よって、栃木県は全国で八割の生産を担うかんぴょうの名産地であると同時に、ふくべ細工の伝統を守り続けてきた地域でもあるのです。



2年(1712年)のこと。鳥居伊賀守忠英が、近江国水口から下野国壬生に国替えされた折に、夕顔の種をもってきて、農民に試作させたのが始まりといわれています。夕顔は、ウリ科の蔓性一年草。夏の夕方に白色の花を開かせることから、この名がつけられました。

昔は炭入れとして利用されていた
ふくべ。今は工芸品として人気

ふくべは、夕顔の収穫期である8月頃に次年用の種を取り除き、外皮(ふくべ)を乾燥させます。ふくべ細工は、その形によって花器や小物入れ、人形魔除面などとして細工が

施されたものですが、昔は、炭入れなどに利用されていたようです。また、ひょうたん(瓢箪)は夕顔の変種で、これもふくべ細工の材料となります。ちなみに慶長見聞集には、ひょうたんが酒器や煙草入れに利用されていたことが記されており、ひょうたんも昔から愛用されていたことが思われます。

ふくべ細工の品々を探すなら日光駅周辺の観光みやげ店「特産品コーナー」などで花器やお面、レターラックなどアイデアあふれる、ふくべ細工の工芸品が数多く揃っています。



▲ひとつひとつ自分の手で作りあげていく喜びは、また格別の思い出になります

製作工程

ふくべ細工でお面を作る場合を例にとり、その工程を簡単に説明しましょう。



- ①面に使われるふくべは、夕顔の実を縦に2つに割って作られます。お面の平均的な大きさは、縦約25cm、横約25cm。まず、ふくべの生地を生かしたデザインを考えます。
- ②デザインに基づいて、チヨークでふくべに下書きをします。
- ③目など、くり抜くところがあればくり抜きます。
- ④絵の具で、下書きに沿って色を付けていきます。
- ⑤絵付け終了後、絵の具が乾燥するまで20〜30分置きます。
- ⑥仕上げとしてラッカーを塗り、ひもなどを付ける場合はひもを付けてできあがりです。

お面制作に持参するもの

- 筆(太細各一本)
- ハンカチ大のボロ布

伝統工芸



郷土玩具 ふくべ洞

小川昌信

〒320-0811 宇都宮市大通り2丁目4番8号

TEL 028-634-7583

FAX 028-634-7586

日光彫

日光彫の起源は、はっきりわかりませんが、寛永11年(1634)から同13年(1636)にかけて、三代将軍家光が、東照宮を現在の壮麗華麗な社殿に造り替えたとき、全国から集められた名匠たちが、余技として作ったのが始まりと考えられています。

東照宮は、元和3年(1617)に創建されましたが、前記の寛永造替工事は、創建の規模を一新するほど大がかりのもので、この造替にあたった大工内夫は延べ168万人、内、彫物大工が40万人におよび、その後も、中・小規模の社殿の建築や改修がたびたび行われているため、日光に永住した匠も多かったと思われています。

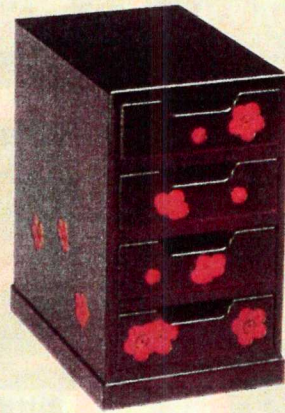
日光彫の技法は、ヒッカキ彫、ウカシ彫・スカシ彫・マル彫・カゴ彫などの方法がありますが、いずれの彫にも「ヒッカキ」と呼ばれる、独特のキリダシを用いるのが、大きな特色となっています。

ヒッカキは、線彫用の刃物ですが、普通の三角刀と異り、先端を約60度に折り曲げたキリダシを、手前に引いて彫るところから「引掻き」と呼ばれたもので、東照宮社殿の修理の際、漆をかき落としにくい個所のために工夫した刃物を、彫刻用に改良したものとされており、彫りの深い、男性的な曲線を描く日光彫に、無くてはならない彫刻刀です。

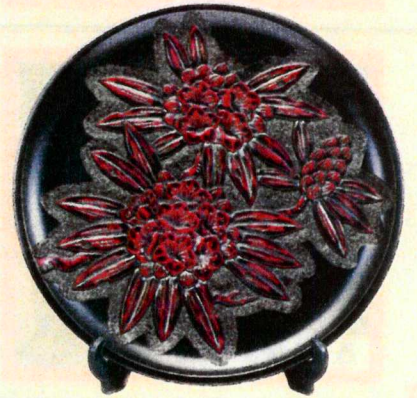
彫の図案に、ボタン・菊・梅・桜など、植物が主に用いられているのも日光彫の特色の一つで、ここにも、東照宮の彫刻紋様の影響が強うかがわれます。

木地には、「県の木」でもあるトチや、カツラ・ホウなどが用いられ、製品は各種盆類のほか、茶たぐ・菓子器・銘々皿・引出し物・テーブル・花台など、種類も豊富です。

いずれの作品も、手作りならでの味の「木」の持つ温かみを生かし、年季の入った職人芸で、男性的で、それでいて繊細な気配りを見せる彫口は、単なる日用品・調度品の域を超えた、格調ある作品となっています。



四ツ引小物入れ 梅
(23.5×16.5×27)



研ぎ出し 尺5寸丸壁掛 石楠花
(46.5×46.5×4.5)



文庫研ぎ出し 牡丹
(35×26.5×11)

※ 単位/cm



手練のノミ先から、美しい図柄が生まれます。

五十嵐漆器(株)

体験学習素材

お1人様 1,050円の品

※手鏡、姫鏡は彫面が裏側です。表側は鏡になっております。



手鏡

(寸法 16×25×0.6cm)



姫鏡

(寸法 13×7.7×1cm)



ペン立

(寸法 8.5×8×11.5cm)

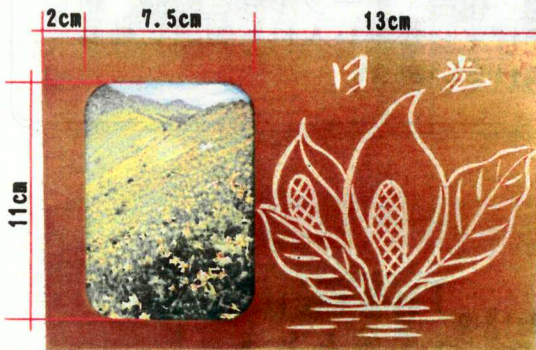


鏡

(直径9.5cm)

鏡つき壁掛

(寸法 18×25×0.8cm)



写真立

(寸法 14.5×22.5×1cm)



6寸皿

(寸法 18×18×2cm)



フリープレート

(寸法 26×19×0.8cm)

お1人様 1,260円の品



ミニアルバム

(寸法 14.5×21.3×1.5cm)

サービス版が24枚入ります。
表紙(両面に彫れます。)



7寸皿

(寸法 21×21×2cm)